

## 小学校における学校図書館オリエンテーションの在り方

尾形 美菜

本研究は、小学校における学校図書館オリエンテーションの現状を把握し、効果的な学校図書館オリエンテーションの在り方を考察することを目的とするものである。調査方法として、文献調査とインタビュー調査を行った。

文献調査では、まず図書館関連のテキストやハンドブックにおいて“オリエンテーション”の記述が少ないことを明らかにした。このことから、学校図書館担当者が学校図書館オリエンテーションを計画する際には、図書館関連のテキストやハンドブックを参考にすることが難しいと考えられる。さらに、小学校の学校図書館オリエンテーションに関する実践報告 8 件を調査し、それらの中から共通する事項を抜き出し、半数以上の実践報告で述べられている事項を重要な要素、記述された数は少ないが必要だと考えられる事項を望ましい要素とした。その結果、学校図書館オリエンテーションに重要な要素 8 項目と、学校図書館オリエンテーションに望ましい要素 9 項目を明らかにした。

また、インタビュー調査では、茨城県結城市、群馬県邑楽郡板倉町、千葉県柏市の公立小学校で行われている学校図書館オリエンテーションを調査し、その特徴を明らかにした。さらに、教員や地域との連携、予算、勤務体制から生じる問題など、様々な課題を明らかにした。これらについては、すぐには解決できない課題もあるが、他の地域の実施方法を取り入れることによって改善できることもあると考えられる。

そして、文献調査結果で明らかにした学校図書館オリエンテーションに重要な要素と望ましい要素が実際に実行されているのか、インタビュー調査結果と比較して考察を行った。その結果、それぞれの要素が“インタビュー調査を実施した全ての小学校で実行されていた要素”、“一部の小学校において実行されていた要素”、“どの小学校でも実行されていない要素”のどれに当てはまるのかを検討した。

以上のことから、効果的な学校図書館オリエンテーションを実施するために優先的に実行すべき要素として、以下の 6 点を明らかにした。(1) 図書館がどのような場所であるかについて指導すること、(2) 学年が上がるごとに実施内容を段階的にグレードアップさせていくこと、(3) 児童にとって楽しい、興味を引く内容を取り入れること、(4) 年度の初めに学校図書館オリエンテーションを実施すること、(5) 学校図書館オリエンテーションに対する教員の理解を得ること、(6) 学校図書館オリエンテーション後、教員から感想を聞くこと。

これらの要素を満たしていくことが、小学校における効果的な学校図書館オリエンテーションの実施に寄与するものと考えられる。

(指導教員 平久江祐司)